

# フランス語学フランス文学専攻分野

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講学期	曜日	講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
フランス文学特論Ⅰ	フランス文学批評史(1)	2	今井 勉	1学期	木	2	フランス文学特論Ⅰ
フランス文学特論Ⅱ	フランス文学批評史(2)	2	今井 勉	2学期	木	2	フランス文学特論Ⅱ
フランス文学特論Ⅲ	文学をめぐる理論と常識(1)	2	今井 勉	1学期	火	2	フランス文学特論Ⅲ
フランス文学特論Ⅳ	文学をめぐる理論と常識(2)	2	今井 勉	2学期	火	2	フランス文学特論Ⅲ
フランス文化学特論Ⅰ	Patrick Modiano	2	メヴェル ヤン	1学期	水	4	フランス文学特論Ⅲ
フランス文化学特論Ⅱ	ヨーロッパ古代文化史入門	2	グロワザール ジョスラン	集中(1学期)			フランス文学特論Ⅲ
フランス文学研究演習Ⅰ	文学と表象芸術(1)	2	今井 勉	1学期	水	2	フランス文学研究演習Ⅰ
フランス文学研究演習Ⅱ	文学と表象芸術(2)	2	今井 勉	2学期	水	2	フランス文学研究演習Ⅱ
フランス文学研究演習Ⅲ	中世・ルネサンスの仏語仏文学研究(1)	2	黒岩 卓	1学期	月	3	フランス文学研究演習Ⅲ
フランス文学研究演習Ⅳ	中世・ルネサンスの仏語仏文学研究(2)	2	黒岩 卓	2学期	月	3	フランス文学研究演習Ⅳ
フランス語学研究演習Ⅰ	フランス語学の現代的トピックⅠ	2	阿部 宏	1学期	水	5	フランス語学研究演習Ⅰ
フランス語学研究演習Ⅱ	フランス語学の現代的トピックⅡ	2	阿部 宏	2学期	水	5	フランス語学研究演習Ⅱ
フランス語学研究演習Ⅲ	Annie Ernaux	2	メヴェル・ヤン	1学期	月	5	フランス語学研究演習Ⅲ
フランス語学研究演習Ⅳ	Annie Ernaux	2	メヴェル・ヤン	2学期	月	5	フランス語学研究演習Ⅳ

科目名：フランス文学特論 I / French Literature (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 木曜日 2 講時

semester：1 学期， 単位数：2

担当教員：今井 勉（教授）

講義コード：LM14209， 科目ナンバリング：LGH-LIT638J， 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：フランス文学特論 I 】

1. 授業題目：

フランス文学批評史（1）

2. Course Title (授業題目)：

History of french criticism (1)

3. 授業の目的と概要：

19 世紀以降のフランスの文学批評の歴史を振り返ります。文学批評は時代の政治・経済・文化の動きと密接な関係を保っています。この授業では、アントワーヌ・コンパニョンの『ブリュヌチエール論』（1997）を主要参考文献として、19 世紀後半から 20 世紀初頭のフランス第三共和政前半期の文学批評の流れをたどってみます。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

This course offers an opportunity to deepen understanding of the history of french criticism having a close relation to politics, economy and culture.

5. 学習の到達目標：

フランスの文学批評について具体的な見通しを持つことができるようになる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

The purpose of this course is to help students have a concrete perspective on the history of french criticism.

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

（以下、授業の進捗については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。）

第 1 回 導入 コンパニョン『文学の第三共和政』（1983）との連続性

第 2 回 『ブリュヌチエール論』序

第 3 回 バカロレア+ゼロ（1）

第 4 回 バカロレア+ゼロ（2）

第 5 回 激しい失墜（1）

第 6 回 激しい失墜（2）

第 7 回 社会参加をし損ねた文学者たち

第 8 回 使い勝手の良い特異体質（1）

第 9 回 使い勝手の良い特異体質（2）

第 10 回 使い勝手の良い特異体質（3）

第 11 回 フロール・サンジェ（アレクサンドル・サンジェ夫人）（1）

第 12 回 フロール・サンジェ（アレクサンドル・サンジェ夫人）（2）

第 13 回 フロール・サンジェ（アレクサンドル・サンジェ夫人）（3）

第 14 回 「カトリック教会の外に救済なし！」（1）

第 15 回 「カトリック教会の外に救済なし！」（2）

8. 成績評価方法：

予習をしたうえでの授業への参加状況 100%

9. 教科書および参考書：

プリントを配付します。解説の対象は以下の書物です。Antoine Compagnon, *Connaissez-vous Brunetiere ? Enquête sur un antidreyfusard et ses amis*, Éditions du Seuil, 《L' Univers historique 》, 1997.

10. 授業時間外学習：

毎回、引用文の訳を担当していただく場合がありますので、ご準備ください。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

連絡先：tsutomu. imai. a4@tohoku. ac. jp

科目名：フランス文学特論Ⅱ／ French Literature (Advanced Lecture) II

曜日・講時：後期 木曜日 2 講時

semester：2 学期， 単位数：2

担当教員：今井 勉（教授）

講義コード：LM24210， 科目ナンバリング：LGH-LIT639J， 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：フランス文学特論Ⅱ】

1. 授業題目：

フランス文学批評史（2）

2. Course Title (授業題目)：

History of french criticism (2)

3. 授業の目的と概要：

19 世紀以降のフランスの文学批評の歴史を振り返ります。文学批評は時代の政治・経済・文化の動きと密接な関係を保っています。この授業では、アントワーヌ・コンパニョンの『ブリュヌチエール論』（1997）を主要参考文献として、19 世紀後半から 20 世紀初頭のフランス第三共和政前半期の文学批評の流れをたどってみます。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

This course offers an opportunity to deepen understanding of the history of french criticism having a close relation to politics, economy and culture.

5. 学習の到達目標：

フランスの文学批評について具体的な見通しを持つことができるようになる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

The purpose of this course is to help students have a concrete perspective on the history of french criticism.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

（以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。）

第 1 回 フロール・サンジェのサロン（1）

第 2 回 フロール・サンジェのサロン（2）

第 3 回 フロール・サンジェのサロン（3）

第 4 回 レナック、ダルメストテール、ルロワ=ポーリウ、ビュロズ夫人（1）

第 5 回 レナック、ダルメストテール、ルロワ=ポーリウ、ビュロズ夫人（2）

第 6 回 客員教授の雛型（1）

第 7 回 客員教授の雛型（2）

第 8 回 ゴラ・ノックアウト（1）

第 9 回 ゴラ・ノックアウト（2）

第 10 回 女たち、金銭、およびケベック（1）

第 11 回 女たち、金銭、およびケベック（2）

第 12 回 訴訟のあと（1）

第 13 回 訴訟のあと（2）

第 14 回 訴訟のあと（3）

第 15 回 まとめ

8. 成績評価方法：

予習をしたうえでの授業への参加状況 100%

9. 教科書および参考書：

プリントを配付します。解説の対象は以下の書物です。Antoine Compagnon, *Connaissez-vous Brunetiere ? Enquête sur un antidreyfusard et ses amis*, Éditions du Seuil, 《L' Univers historique 》, 1997.

10. 授業時間外学習：

毎回、引用文の訳を担当していただく場合がありますので、ご準備ください。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

連絡先：tsutomu.imai.a4@tohoku.ac.jp

科目名：フランス文学特論Ⅲ／ French Literature (Advanced Lecture) III

曜日・講時：前期 火曜日 2 講時

semester：1 学期， 単位数：2

担当教員：今井 勉（教授）

講義コード：LM12208， 科目ナンバリング：LGH-LIT640J， 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：フランス文学特論Ⅲ】

**1. 授業題目：**

文学をめぐる理論と常識（1）

**2. Course Title (授業題目)：**

Theory and common sense (1)

**3. 授業の目的と概要：**

この授業では、文学研究におけるさまざまな方法論を学びながら、実際の論文（レポート、研究ノート、雑誌向けの論文、修士論文や博士論文など）を構想・執筆するに当たって最も重要となる問題設定の仕方と論理展開の方法について、実例をもとに実践的に考え、実習を通して訓練を行います。

**4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)**

This course offers an opportunity to deepen understanding diversity in the research and to develop the abilities necessary in academic writing.

**5. 学習の到達目標：**

論文の構想と執筆について具体的かつ実践的な見通しを持つことができるようになる。

**6. Learning Goals (学修の到達目標)**

The purpose of this course is to help students have a concrete and practical perspective of writing articles.

**7. 授業の内容・方法と進度予定：**

（以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。）

第1回 導入

第2回 内在批評と外在批評

第3回 テクストの価値づけ

第4回 先行研究へのリスペクトと文献目録

第5回 最新版・最新研究への目配り

第6回 比較断章法（1）

第7回 比較断章法（2）

第8回 「注」への注意

第9回 問題設定は自分にしかできないということ（1）

第10回 問題設定は自分にしかできないということ（2）

第11回 執筆要項の順守

第12回 研究ノートを書いてみよう（1）

第13回 研究ノートを書いてみよう（2）

第14回 修士論文の構想（1）

第15回 修士論文の構想（2）

**8. 成績評価方法：**

予習をしたうえでの授業への参加状況 100%

**9. 教科書および参考書：**

プリントを配付します。

**10. 授業時間外学習：**

毎回、十分な準備をして臨むこと。

**11. 実務・実践的授業/Practical business：**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

**12. その他：**

連絡先：tsutomu.imai.a4@tohoku.ac.jp

科目名：フランス文学特論Ⅳ／ French Literature (Advanced Lecture) IV

曜日・講時：後期 火曜日 2 講時

semester：2 学期， 単位数：2

担当教員：今井 勉（教授）

講義コード：LM22305， 科目ナンバリング：LGH-LIT641J， 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：フランス文学特論Ⅲ】

1. 授業題目：

文学をめぐる理論と常識（2）

2. Course Title (授業題目)：

Theory and common sense (2)

3. 授業の目的と概要：

この授業では、文学研究におけるさまざまな方法論を学びながら、実際の論文（レポート、研究ノート、雑誌向けの論文、修士論文や博士論文など）を構想・執筆するに当たって最も重要となる問題設定の仕方と論理展開の方法について、実例をもとに実践的に考え、実習を通して訓練を行います。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

This course offers an opportunity to deepen understanding diversity in the research and to develop the abilities necessary in academic writing.

5. 学習の到達目標：

論文の構想と執筆について具体的かつ実践的な見通しを持つことができるようになる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

The purpose of this course is to help students have a concrete and practical perspective of writing articles.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

（以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。）

第1回 夏休みの課題の検討（1）

第2回 夏休みの課題の検討（2）

第3回 展開フィードバック（1）

第4回 展開フィードバック（2）

第5回 研究の過去・現状・意義（1）

第6回 研究の過去・現状・意義（2）

第7回 引用とは何か（1）

第8回 引用とは何か（2）

第9回 引用をつなぐ（1）

第10回 引用をつなぐ（2）

第11回 発表レジュメと引用集（1）

第12回 発表レジュメと引用集（2）

第13回 トポスの範囲確定と問題化（1）

第14回 トポスの範囲確定と問題化（2）

第15回 まとめ

8. 成績評価方法：

予習をしたうえでの授業への参加状況 100%

9. 教科書および参考書：

プリントを配付します。

10. 授業時間外学習：

毎回、十分な準備をして臨むこと。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

連絡先：tsutomu.imai.a4@tohoku.ac.jp

科目名：フランス文化学特論 I / French Culture (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

semester：1 学期， 単位数：2

担当教員：メヴェル ヤン（教授）

講義コード：LM13404， 科目ナンバリング：LGH-LIT642F， 使用言語：英語以外の外国語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：フランス文学特論Ⅲ】

1. 授業題目：

Patrick Modiano

2. Course Title (授業題目)：

Patrick Modiano

3. 授業の目的と概要：

- apprentissage du mode d'analyse d'une œuvre complète
- approches thématiques, poétiques et stylistiques d'une œuvre narrative
- pratique de l'explication de textes littéraires
- pratique de l'argumentation
- analyse de documents

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

- apprentissage du mode d'analyse d'une œuvre complète
- approches thématiques, poétiques et stylistiques d'une œuvre narrative
- pratique de l'explication de textes littéraires
- pratique de l'argumentation
- analyse de documents

5. 学習の到達目標：

Analyse d'une écriture de la mémoire et de la mélancolie qui se confronte à l'histoire individuelle et collective.

6. Learning Goals (学修の到達目標)

Analyse d'une écriture de la mémoire et de la mélancolie qui se confronte à l'histoire individuelle et collective.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1) Introduction
- 2) Introduction
- 3) Explication de texte
- 4) Explication de texte
- 5) Explication de texte
- 6) Explication de texte
- 7) Explication de texte
- 8) Explication de texte
- 9) Explication de texte
- 10) Explication de texte
- 11) Explication de texte
- 12) Explication de texte
- 13) Explication de texte
- 14) Explication de texte
- 15) Explication de texte
- 16) Travaux d'étudiants

8. 成績評価方法：

L'évaluation prendra d'abord la forme d'un contrôle continu, qui demande une participation active aux cours. Celui-ci comptera pour 50 % dans l'évaluation globale. A la fin du semestre, il s'agira de présenter un exposé ou une explication de texte (25 %) et, par écrit, un bref compte rendu (25 %)

9. 教科書および参考書：

Patrick Modiano, Dora Bruder, Paris, La Bibliothèque Gallimard - texte et dossier

10. 授業時間外学習：

Pour toute explication de texte, il faudra avant le cours effectuer les recherches utiles (vocabulaire, grammaire, références...), en s'interrogeant sur les fonctions et effets de ce texte.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：フランス文化学特論Ⅱ／ French Culture (Advanced Lecture) II

曜日・講時：通年集中 その他 連講

セメスター：集中（1学期）、単位数：2

担当教員：ゲロザール ジョスタン（非常勤講師）

講義コード：LM98826、科目ナンバリング：LGH-LIT643J、使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：フランス文学特論Ⅲ】

1. 授業題目：

ヨーロッパ古代文化史入門

2. Course Title (授業題目)：

Introduction to the cultural history of the European antiquity

3. 授業の目的と概要：

この授業では、ヨーロッパの古代、特にギリシアとローマの文化について学ぶ。現代社会の様々な課題が遠い昔と思われる古代にどのように繋がっているかを具体的に理解する。また、その知識を得たうえで、現在の問題を違う視点から捉え直す。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

5. 学習の到達目標：

文化史という知的ツールを通じて、過去の文化を未発達で劣ったものと思いつくことなく、そこから実際に多くのことを学べることを知る。またそれによって自分の価値観を相対化し、現代の課題を捉えなおす力を獲得する。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

7. 授業の内容・方法と進度予定：

毎回のテーマについての基礎知識を学びながら、現代に共鳴している課題に繋げていく。学生もそれらの課題について考え意見を述べる。さらに古代の資料・文章などを分析する。

- 第1回 古代・中世・ルネサンス：歴史の区分とその起原・正当性
- 第2回 いわゆる「ギリシアの奇跡」：我々もみなギリシア人ではないか
- 第3回 真実の誕生：ミュトス（神話）とロゴス（理性）
- 第4回 民主主義の誕生：古代ギリシアのポリス（都市国家）
- 第5回 哲学の誕生：ソクラテス、プラトン、アリストテレス
- 第6回 古代の倫理学：ストア派とエピクロス派の対立
- 第7回 古代哲学の課題（例1）：コスモス（世界）とはどんなものか
- 第8回 古代哲学の課題（例2）：死とはどんなものか
- 第9回 法学の誕生：ギリシアからローマへ
- 第10回 インペリウム（権力・帝国）：ローマ帝国と帝国主義の誕生
- 第11回 古代の奴隷制と現代の奴隷制を比較して
- 第12回 古代宗教：神話・教義・神学
- 第13回 異教とキリスト教の対立
- 第14回 古代末期：古代はいつ終わったか

8. 成績評価方法：

出席（20%）、授業中の積極的な参加（30%）、最終レポート（50%）。

9. 教科書および参考書：

参考資料を適宜配布。

10. 授業時間外学習：

授業内容の復習。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

使用言語は主にフランス語。必要に応じて日本語で追加説明を加える。

科目名：フランス文学研究演習 I / French Literature (Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 水曜日 2 講時

セメスター：1 学期， 単位数：2

担当教員：今井 勉（教授）

講義コード：LM13207， 科目ナンバリング：LGH-LIT648J， 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：フランス文学研究演習 I 】

1. 授業題目：

文学と表象芸術（1）

2. Course Title（授業題目）：

Literature and arts (1)

3. 授業の目的と概要：

詩人・小説家・思想家のテキストを主な題材として、19 世紀と 20 世紀における文学と芸術（特に絵画）との関わりについて考察します。この授業では、小説家ジャン＝マリー・ルアール（1943～）の自伝的小説『光の影の青春』（邦訳なし）を読んでいます。テキスト読解の傍ら、折に触れて、ジャン＝マリー・ルアール著『印象派のなかの一家族』（ガリマール社、2016 年〔初版 2001 年〕）、ダヴィド・アジオ著『ルアール家の人々（1850–2000）』（ファイヤール社、2012 年）を参照します。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

This course offers an opportunity to deepen understanding of the relations between literature and arts in french culture through the intensive reading of literary textes.

5. 学習の到達目標：

近代フランス文化史の理解を深める。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

The purpose of this course is to help students better understand french historical culture in modern age.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

（以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。）

- 第1回 導入&Le palais qui porte malheur
- 第2回 La belle Italienne de Torcello
- 第3回 On me montre des femmes nues
- 第4回 Une oasis dans un hôpital psychiatrique
- 第5回 Ma nuit avec la fille du général
- 第6回 Toutes les femmes sont infidèles
- 第7回 Un moment de pessimisme amoureux
- 第8回 Les ombres de Montparnasse
- 第9回 Le caravansérail de l' impressionnisme
- 第10回 Degas, bon et mauvais génie de la famille
- 第11回 Les poisons du snobisme amoureux
- 第12回 Le Prométhée familial
- 第13回 Je contracte un virus mortel
- 第14回 L' agonie de Don Juan
- 第15回 Je suis à Chioggia

8. 成績評価方法：

予習をしたうえでの授業への参加状況 100%

9. 教科書および参考書：

Jean-Marie Rouart, Une jeunesse à l' ombre de la lumière, Gallimard, 2000 ; Jean-Marie Rouart, Une famille dans l' impressionnisme, Gallimard, 2016 ; David Haziot, Le roman des Rouart (1850-2000), Fayard, 2012.

10. 授業時間外学習：

毎回、十分な予習が必要となります。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

12. その他：

連絡先：tsutomu.imai.a4@tohoku.ac.jp



科目名：フランス文学研究演習Ⅱ／ French Literature(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 水曜日 2講時

Semester：2学期， 単位数：2

担当教員：今井 勉（教授）

講義コード：LM23206， 科目ナンバリング：LGH-LIT649J， 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：フランス文学研究演習Ⅱ】

1. 授業題目：

文学と表象芸術（2）

2. Course Title（授業題目）：

Literature and arts（2）

3. 授業の目的と概要：

詩人・小説家・思想家のテキストを主な題材として、19世紀と20世紀における文学と芸術（特に絵画）との関わりについて考察します。この授業では、小説家ジャン＝マリー・ルアール（1943～）の自伝的小説『光の影の青春』（邦訳なし）を読んでいます。テキスト読解の傍ら、折に触れて、ジャン＝マリー・ルアール著『印象派のなかの一家族』（ガリマール社、2016年〔初版2001年〕）、ダヴィド・アジオ著『ルアール家の人々（1850-2000）』（ファイヤール社、2012年）を参照します。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

This course offers an opportunity to deepen understanding of the relations between literature and arts in french culture through the intensive reading of literary textes.

5. 学習の到達目標：

近代フランス文化史の理解を深める。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

The purpose of this course is to help students better understand french historical culture in modern age.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

（以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。）

第1回 第1部の振り返り

第2回 Une reine sans couronne au pays des Palikares

第3回 Je suis le père de mon père

第4回 Plaqué, recalé, refusé

第5回 La blessure de Spetsai

第6回 L' Acropole de la bourgeoisie

第7回 L' école du mécontentement du soi

第8回 Fils d' Hiram

第9回 La lumière de l' impressionnisme

第10回 Dans la tourmente

第11回 Rencontre avec un héros de roman

第12回 Pleins feux sur la passion

第13回 Le monastère de Samos

第14回 L' ile maudite

第15回 La princesse de Grèce

8. 成績評価方法：

予習をしたうえでの授業への参加状況100%

9. 教科書および参考書：

Jean-Marie Rouart, Une jeunesse à l' ombre de la lumière, Gallimard, 2000 ; Jean-Marie Rouart, Une famille dans l' impressionnisme, Gallimard, 2016 ; David Haziot, Le roman des Rouart (1850-2000), Fayard, 2012.

10. 授業時間外学習：

毎回、十分な予習が必要となります。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

12. その他：

連絡先：tsutomu.imai.a4@tohoku.ac.jp

科目名：フランス文学研究演習Ⅲ／ French Literature(Advanced Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 月曜日 3講時

semester：1学期， 単位数：2

担当教員：黒岩 卓（准教授）

講義コード：LM11305， 科目ナンバリング：LGH-LIT650J， 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：フランス文学研究演習Ⅲ】

1. 授業題目：

中世・ルネサンスの伝説伝文学研究（1）

2. Course Title (授業題目)：

Medieval and Renaissance French Literature (1)

3. 授業の目的と概要：

一昨年度に引き続き、フランス語による神学・哲学的散文の嚆矢であり、思想史的にも重要な位置を占めるジャン・カルヴァンの『キリスト教綱要』の1541年フランス語版（Olivier Millet 校訂版）を読みます。近代校訂諸版を適時参照し、テキスト校訂に関わる諸問題を同時に考える機会としたいとも考えています。これまでに受講していない人や中期フランス語を読んだ経験が無い人でも、現代フランス語の十分な知識があれば受講が可能です。また、後期のフランス文学研究演習Ⅳと共に受講することで、より深い知識が得られます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

5. 学習の到達目標：

中期フランス語およびそれによって書かれた作品の研究に関する基礎知識を習得する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

（以下、テキスト購読と並行してとりあげるトピックを記します。順番などは適時変更することがあります。）

第一回 中期フランス語入門1

第二回 中期フランス語入門2

第三回 中期フランス語の辞書と文法書

第四回 近代校訂版とは

第五回 テキスト校訂の種々の立場

第六回 写本と印刷本

第七回 書誌の作り方

第八回 雑誌

第九回 歴史音声学

第十回 ラテン語

第十一回 古フランス語

第十二回 古典フランス語

第十三回 句読点

第十四回 韻文と散文

第十五回 まとめ

8. 成績評価方法：

出席100%

9. 教科書および参考書：

Jean Calvin, Institution de la religion chrétienne (1541), éd. par Olivier Millet, Genève, Droz, 2008.

10. 授業時間外学習：

当該のテキストの予習が必要になります。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：フランス文学研究演習Ⅳ／ French Literature(Advanced Seminar)Ⅳ

曜日・講時：後期 月曜日 3講時

Semester：2学期， 単位数：2

担当教員：黒岩 卓（准教授）

講義コード：LM21306， 科目ナンバリング：LGH-LIT651J， 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：フランス文学研究演習Ⅳ】

1. 授業題目：

中世・ルネサンスの伝説伝文学研究（2）

2. Course Title (授業題目)：

Medieval and Renaissance French Literature (2)

3. 授業の目的と概要：

前期に引き続き、フランス語による神学・哲学的散文の嚆矢であり、思想史的にも重要な位置を占めるジャン・カルヴァンの『キリスト教綱要』の1541年フランス語版（Olivier Millet 校訂版）を読みます。近代校訂諸版を適時参照し、テキスト校訂に関わる諸問題を同時に考える機会としたいとも考えています。これまでに受講していない人や中期フランス語を読んだ経験が無い人でも、現代フランス語の十分な知識があれば受講が可能です。前期のフランス文学研究演習Ⅲと共に受講することで、より深い知識が得られます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

5. 学習の到達目標：

中期フランス語およびそれによって書かれた作品の研究に関する基礎知識を習得する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

（以下、テキスト購読と並行してとりあげるトピックを記します。順番などは適時変更することがあります。）

第一回 前期の復習

第二回 聖書

第三回 古代の教父たち

第四回 中世神学（1）

第五回 中世神学（2）

第六回 中世神学（3）

第七回 対抗宗教改革

第八回 日本におけるキリスト教伝来

第九回 仙台とキリスト教

第十回 プロテスタント作家（十六世紀）

第十一回 プロテスタント作家（十七世紀以降）

第十二回 カルヴァン主義と芸術

第十三回 後世への影響（世界）

第十四回 後世への影響（日本）

第十五回 まとめ

8. 成績評価方法：

出席100%

9. 教科書および参考書：

Jean Calvin, Institution de la religion chrétienne (1541), éd. par Olivier Millet, Genève, Droz, 2008.

10. 授業時間外学習：

当該のテキストの予習が必要になります。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：フランス語学研究演習 I / French Linguistics (Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 水曜日 5 講時

semester：1 学期， 単位数：2

担当教員：阿部 宏（教授）

講義コード：LM13506， 科目ナンバリング：LGH-LIT644J， 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：フランス語学研究演習 I 】

**1. 授業題目：**

フランス語学の現代的トピック I

**2. Course Title (授業題目)：**

Questions contemporaines de langue française (1)

**3. 授業の目的と概要：**

フランス語に関する論文を読みながら，フランス語学・一般言語学・言語学史・対照言語研究の基礎概念を紹介・解説し，フランス語の諸現象について考える。また，日本語，英語との対照的考察を行う。

**4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)**

En lisant des articles sur le français, on expliquera les concepts de base de la linguistique française, de la linguistique générale, de l'histoire de la linguistique et de la linguistique contrastive, et on mettra en relief des caractéristiques du français

**5. 学習の到達目標：**

- ・フランス語学・一般言語学・仏英日対照言語学の基礎が理解できる。
- ・フランス語学の研究史が把握できる。
- ・語学研究の方法論が理解できる。
- ・言語に潜在する主観性概念への関心が高まる。

**6. Learning Goals (学修の到達目標)**

\* Comprendre les méthodologies élémentaires de la linguistique française, de la linguistique générale, de la linguistique contrastive franco-anglaise.

\* Comprendre l'histoire de la linguistique française

\* Comprendre la méthodologie de la recherche ling

**7. 授業の内容・方法と進度予定：**

1. ガイダンス
2. フランス語学関連文献読解 (1)
3. フランス語学関連文献読解 (2)
4. フランス語学関連文献読解 (3)
5. フランス語学関連文献読解 (4)
6. 一般言語学関連文献読解 (1)
7. 一般言語学関連文献読解 (2)
8. 一般言語学関連文献読解 (3)
9. 一般言語学関連文献読解 (4)
10. 言語学史関連文献読解 (1)
11. 言語学史関連文献読解 (2)
12. 言語学史関連文献読解 (3)
13. 対照言語学関連文献読解 (1)
14. 対照言語学関連文献読解 (2)
15. まとめと筆記試験

**8. 成績評価方法：**

平常点 40%，筆記試験 60%

**9. 教科書および参考書：**

プリント使用。

参考書：阿部宏『言葉に心の声を聞く』(2015) 東北大学出版会。

他に，関連図書について，適宜推薦します。

**10. 授業時間外学習：**

教室で適宜テーマを与えますので，関連資料を調査し，各自考えていただきます

**11. 実務・実践的授業/Practical business：**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

**12. その他：**

科目名：フランス語学研究演習Ⅱ／ French Linguistics(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 水曜日 5講時

semester：2学期， 単位数：2

担当教員：阿部 宏（教授）

講義コード：LM23506， 科目ナンバリング：LGH-LIT645J， 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：フランス語学研究演習Ⅱ】

**1. 授業題目：**

フランス語学の現代的トピックⅡ

**2. Course Title (授業題目)：**

Questions contemporaines de langue françaiseⅡ

**3. 授業の目的と概要：**

フランス語に関する論文を読みながら，フランス語学・一般言語学・言語学史・対照言語研究の基礎概念を紹介・解説し，フランス語の諸現象について考える。また，日本語，英語との対照的考察を行う。

**4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)**

En lisant des articles sur le français, on expliquera les concepts de base de la linguistique française, de la linguistique générale, de l'histoire de la linguistique et de la linguistique contrastive, et on mettra en relief des caractéristiques du français

**5. 学習の到達目標：**

- ・フランス語学・一般言語学・仏英日対照言語学の基礎が理解できる。
- ・フランス語学の研究史が把握できる。
- ・語学研究の方法論が理解できる。
- ・言語に潜在する主観性概念への関心が高まる。

**6. Learning Goals(学修の到達目標)**

\* Comprendre les méthodologies élémentaires de la linguistique française, de la linguistique générale, de la linguistique contrastive franco-anglaise.

\* Comprendre l'histoire de la linguistique française

\* Comprendre la méthodologie de la recherche ling

**7. 授業の内容・方法と進度予定：**

1. ガイダンス
2. フランス語学関連文献読解（1）
3. フランス語学関連文献読解（2）
4. フランス語学関連文献読解（3）
5. フランス語学関連文献読解（4）
6. 一般言語学関連文献読解（1）
7. 一般言語学関連文献読解（2）
8. 一般言語学関連文献読解（3）
9. 一般言語学関連文献読解（4）
10. 言語学史関連文献読解（1）
11. 言語学史関連文献読解（2）
12. 言語学史関連文献読解（3）
13. 対照言語学関連文献読解（1）
14. 対照言語学関連文献読解（2）
15. まとめと筆記試験

**8. 成績評価方法：**

平常点 40%，筆記試験 60%

**9. 教科書および参考書：**

プリント使用。

参考書：阿部宏『言葉に心の声を聞く』（2015）東北大学出版会。

他に，関連図書について，適宜推薦します。

**10. 授業時間外学習：**

教室で適宜テーマを与えますので，関連資料を調査し，各自考えていただきます

**11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

**12. その他：**

科目名：フランス語学研究演習Ⅲ／ French Linguistics(Advanced Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 月曜日 5講時

セメスター：1学期， 単位数：2

担当教員：メヴェル・ヤン（教授）

講義コード：LM11503， 科目ナンバリング：LGH-LIT646F， 使用言語：英語以外の外国語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：フランス語学研究演習Ⅲ】

1. 授業題目：

Annie Ernaux

2. Course Title (授業題目)：

Annie Ernaux

3. 授業の目的と概要：

- apprentissage du mode d'analyse d'une œuvre complète
- approches thématiques, poétiques et stylistiques d'une œuvre narrative
- pratique de l'explication de textes littéraires
- pratique de l'argumentation
- analyse de documents

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

- apprentissage du mode d'analyse d'une œuvre complète
- approches thématiques, poétiques et stylistiques d'une œuvre narrative
- pratique de l'explication de textes littéraires
- pratique de l'argumentation
- analyse de documents

5. 学習の到達目標：

- analyse d'une œuvre qui estompe les frontières génériques entre roman, journal, biographie et autobiographie
- analyse des points de rencontre entre littérature, Histoire et sociologie
- analyse de la notion d'« écriture plate »

6. Learning Goals(学修の到達目標)

- analyse d'une œuvre qui estompe les frontières génériques entre roman, journal, biographie et autobiographie
- analyse des points de rencontre entre littérature, Histoire et sociologie
- analyse de la notion d'« écriture plate »

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1) Introduction
- 2) Introduction
- 3) Explication de texte
- 4) Explication de texte
- 5) Explication de texte
- 6) Explication de texte
- 7) Explication de texte
- 8) Explication de texte
- 9) Explication de texte
- 10) Explication de texte
- 11) Explication de texte
- 12) Explication de texte
- 13) Explication de texte
- 14) Explication de texte
- 15) Explication de texte
- 16) Travaux d'étudiants

8. 成績評価方法：

L'évaluation prendra d'abord la forme d'un contrôle continu, qui demande une participation active aux cours. Celui-ci comptera pour 50 % dans l'évaluation globale. A la fin du semestre, il s'agira de présenter un exposé ou une explication de texte (25 %) et, par écrit, un bref compte rendu (25 %)

9. 教科書および参考書：

Annie Ernaux, La Place, Belin-Gallimard (dossier de Kim-Lan Appéré)

10. 授業時間外学習：

Pour toute explication de texte, il faudra avant le cours effectuer les recherches utiles (vocabulaire, grammaire, références...), en s'interrogeant sur les fonctions et effets de ce texte.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business

12. その他：

科目名：フランス語学研究演習Ⅳ／ French Linguistics(Advanced Seminar)Ⅳ

曜日・講時：後期 月曜日 5講時

semester：2学期， 単位数：2

担当教員：メヴェル・ヤン（教授）

講義コード：LM21502， 科目ナンバリング：LGH-LIT647F， 使用言語：英語以外の外国語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：フランス語学研究演習Ⅳ】

1. 授業題目：

Annie Ernaux

2. Course Title (授業題目)：

Annie Ernaux

3. 授業の目的と概要：

- apprentissage du mode d'analyse d'une œuvre complète
- approches thématiques, poétiques et stylistiques d'une œuvre narrative
- pratique de l'explication de textes littéraires
- pratique de l'argumentation
- analyse de documents

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

- apprentissage du mode d'analyse d'une œuvre complète
- approches thématiques, poétiques et stylistiques d'une œuvre narrative
- pratique de l'explication de textes littéraires
- pratique de l'argumentation
- analyse de documents

5. 学習の到達目標：

- analyse d'une œuvre qui estompe les frontières génériques entre roman, journal, biographie et autobiographie
- analyse des points de rencontre entre littérature, Histoire et sociologie
- analyse de la notion d'« écriture plate »

6. Learning Goals(学修の到達目標)

- analyse d'une œuvre qui estompe les frontières génériques entre roman, journal, biographie et autobiographie
- analyse des points de rencontre entre littérature, Histoire et sociologie
- analyse de la notion d'« écriture plate »

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1) Introduction
- 2) Introduction
- 3) Explication de texte
- 4) Explication de texte
- 5) Explication de texte
- 6) Explication de texte
- 7) Explication de texte
- 8) Explication de texte
- 9) Explication de texte
- 10) Explication de texte
- 11) Explication de texte
- 12) Explication de texte
- 13) Explication de texte
- 14) Explication de texte
- 15) Explication de texte
- 16) Travaux d'étudiants

8. 成績評価方法：

L'évaluation prendra d'abord la forme d'un contrôle continu, qui demande une participation active aux cours. Celui-ci comptera pour 50 % dans l'évaluation globale. A la fin du semestre, il s'agira de présenter un exposé ou une explication de texte (25 %) et, par écrit, un bref compte rendu (25 %)

9. 教科書および参考書：

Annie Ernaux, Une femme, Paris, La bibliothèque Gallimard (dossier de Pierre-Louis Fort)

10. 授業時間外学習：

Pour toute explication de texte, il faudra avant le cours effectuer les recherches utiles (vocabulaire, grammaire, références...), en s'interrogeant sur les fonctions et effets de ce texte.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

